

# 1 自己評価及び外部評価票

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2092300033		
法人名	長野県厚生農業協同組合連合会		
事業所名	富士見高原病院 グループホームやまゆり		
所在地	長野県諏訪郡富士見町富士見3796-5		
自己評価作成日	平成24年11月28日	評価結果市町村受理日	平成25年2月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2092300033-00&amp;PrefCd=20&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2092300033-00&amp;PrefCd=20&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社エフワイエル
所在地	松本市蟻ヶ崎台24-3
訪問調査日	平成24年12月27日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームの理念である「あるがままに、在るがままに…」を基本姿勢に、ここで暮らす入者に対して認知症であっても豊かに暮らせるように支援しています。日々のケアの中で、迷うとき、戸惑うときは職員一同が理念に立ち戻るように努めています。  
 日々の生活活動は、食事作り、掃除、洗濯、畑作りを中心に動いていますが、これらの生活活動が、入居者の方々にとって「訓練」のための活動にならないように、その日の心身の状態に合わせて行っています。  
 地域との関わりの中なかでは、ホーム近隣の住民の方々との交流を第一に考えています。  
 また、入居者の「あ～したい」「こうしたい」の希望になるべく浴えるよう支援体制をとっています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

「あるがままに…在るがままに…」を基本に、利用者が穏やかな日々を送れるように支援している。  
 また、健康上の課題が発生した時の医療機関のバックアップが保障されており、利用者・家族の安心の下に信頼を得ている。  
 「第二の家」ではあるが、全ての利用者・職員が大家族のように暮らすグループホームやまゆりは、利用者の日々の生活において、「できる事は、できる人にしてもらう」という暮らしに現れている。  
 ユニットの増設により「お隣さん」ができた環境に、利用者の活動領域の広がりの可能性を感じる・期待したいホームである。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

ユニット名(南)		項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)				

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

ユニット名( 北 )

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価票

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「あるがままに、在るがままに・・・」の理念が職員全員に共有されており、日々のケアで、迷ったり、戸惑うときに、理念に立ち戻ることができている。	理念が広く職員に共有されている。	理念の「あるがままに、在るがままに・・・」を認知症の利用者の日々の生活にどう活かすのか、議論を深め理解度を上げる取り組みも必要であろう。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のボランティアグループの積極的な受け入れや、地域の子どもたちが気軽に立ち寄れるようなこともある。 また、地域の方々が野菜や花の差し入れをもってきてくれる。	近隣の施設との交流の機会や、日々の地域住民や通学途中の子供の立ち寄り場所となっており、開かれたホームを目指す姿勢が窺える。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	管理者がその知識を生かし、諏訪地域において「認知症ケアについて」の講師を行ったり、実習生の受け入れも始めた。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	おおむね年に4回開催し、内容としては、ホームでの活動状況を報告している。その際には、ご家族の意見や要望を取り入れ、今後のホーム作りに活かしている。	和気あいあいとした雰囲気の中で多くの家族が参加し、職員も加わることによって、相互の意思疎通が図られている。	要望・意見が「受け止められていない」と感じている家族への対応や、参加できない家族の要望のくみ取りにも工夫を期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の場を中心として、年2回の交流会も参加して頂いている。その機会を生かして、お互いの意見交換の場となっている。	行政担当者もホームの交流会や運営会議に参加して、グループホームやまゆりの理解を深めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当ホームでは、基本姿勢として「身体拘束」は行いません。 ただし、入居者によっては身の危険性に対するリスクの説明は行っています。 現在、安全確保の為、一時的に玄関を施錠しています。	直接の身体拘束は行われていないが、施錠を拘束と考えない意識に理念の危うさを感じる。	「安全のための施錠」について利用者やホーム環境の現状を見直し、施錠解除に向けた工程表を作るなど、理念に向かう取り組みを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者が中心となって、ホーム会や、カンファレンス会議の時間を使い、ミニ勉強会を実施している。 また、管理者は職員の心身のストレスに配慮し気持ちよく働ける職場作りを目指しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在のところ、入居者2名の方が成年後見制度を取り入れてています。 そのため、職員に対して、成年後見制度に関する勉強会を開催したいと思っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な時間をとって行っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々、入居者やご家族に対して気軽に意見や要望が言えるような雰囲気作りを大切にしています。 そこで出された意見や要望については、速やかに対処できるようにしています。	運営会議に欠席した家族にも報告書を送るなど、ホームの状況を伝わりやすく伝え、要望を出しやすい環境に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホーム会やサービス担当者会議の場を通じたり、必要によっては、毎日の申し送りの時間を使って職員の気持ちや、アイデアを運営に取り入れています。	日々の業務の中においても、職員が意見・提案を発信できる環境となっている。	言いやすい職場環境を活かした職員同士の活発な議論が、サービスの質の向上に更に結びつくことを期待したい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の働きやすい職場の環境作りや、職員の希望に配慮した「勤務表」の作成を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の「やる気」に配慮し、外部の研修等のスキルアップの機会も作っています。他に、院内で行われる研修会の参加も促しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	関連事業所の老健(4ヶ所)の職員の交流や、勉強会の参加を積極的に行っています。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	その方の持つ世界を大切にすることを基本方針とし、初めは「直さない・正さない」事を念頭に置いています。日々のケアの中で、本人の心身の状態や、想いをくみ取るよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	当ホームがご家族にとっても、「第2の家」になるような関係作りに配慮しています。アットホームな雰囲気の中から、家族の抱える悩みや苦労を分かち合えるよう職員一同努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の率直な声に対し、スピーディーに対応することに努めていますが、その内容によっては家族と話し合いの場を持つように心がけています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	目標としては、日々の生活活動も含め、日々の暮らしの中で「持ちつ、持たれつ」の関係を目指していますが、時と場合によっては、支援する人・される人の力関係になっていることは否めません。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホームへの来所時、運営推進会議、家族会の場を通じ、本人の日頃の状態を報告・相談しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	当ホームは、家族の方・地域の方々に対し、オープンなホームを目指しています。こうした中で、入居者の馴染みな人の交流ができるよう配慮しています。	基本的には出入りの自由なホームであり、利用者の知人の訪問や季節によってはホームの開放などもあり、それを楽しみにしている利用者の姿がある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの、想いや時間を尊重しています。その中で、一人が孤立することがないように、コミュニケーションや関わり方の充実により、共に暮らしを楽しめるよう心がけています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現在のところ、退所した入居者はいませんが、今後退所することがあっても、入居者や家族の方々にとって、ここが「第2の家」になってくれるよう努めていきます。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの、想いや希望に沿った暮らしができるよう配慮していますが、時と場合によっては、完全には汲み取る事はできていません。	増設による新たな利用者に対しての思いや意向の把握が進んでいないと感じる。	観察記録や家族の協力を得ての情報だけでは利用者の本心は掴みきれないものである。コミュニケーションをはじめとした本人との関わりを増やすなどして、思いをくみ取る努力を更に期待したい。「あるがままに・・・在るがままに・・・」の基本に立ち戻ることも必要と思われる。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	その人の培った人生をできる限り把握に基づいた関わり方を心がけています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前の情報にはとらわれず、ホームで共に生活する中で見えてきた本人の力を活かせるような関わりをしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護支援専門員が中心となり、現行のケアプランの進捗状況や評価を行っています。 また、サービス担当者会議の中で、今のプランがその人に則しているか検討しています。	家族の要望もくみ取り、ケアプランに活かしている。	意思表示が困難な利用者の希望をどのようにくみ取るのか、「あるがままに…存在がままに…」を更に深めることも必要であろう。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の観察記録・身体状況に関する記録を中心に入居者のケアに繋げています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者に関する必要な事柄に対し、院内のリハビリや、薬剤師・ドクターの支援を頂いています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の民生委員さんからは、開設当初からホームの環境面に対しての、ご協力を頂いています。 また、地域のボランティアグループの活動の場として提供しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当ホームの経営母体である、富士見高原病院の全面バックアップを受けています。	緊急時にバックアップをしてもらえる医療機関があり、重度化しつつある利用者の家族に安心をもたらしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一回老健より看護師が来所し、健康チェックを行っています。 また、富士見高原病院より全面的なバックアップを受けています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	当ホームの経営母体である、富士見高原病院の全面バックアップを受けています。介護支援専門員が中心となって、主治医と連絡を密に取り、その入居者の方の方向性を決めていきます。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	当ホームの方針として、今のところ「看取り」は行いませんが、万が一のときは家族と十分な話し合いの場を持ち、方向を決めていきます。その際には、富士見高原病院をはじめ、関連施設とのネットワークを活かした対応を検討していきます。	関連機関との連携により重度化しても安心して利用を続けることができる。しかし、「できるだけここで…」という家族の思いと、「看取り」ほしくないというホームの方針に職員の葛藤を感じる。	開設から三年・増設・重度化の進行など、環境が変わってきた今だからこそ、わかりやすい利用基準の検討をするなど、「あるがままに…在るがままに…」を更に深めることも必要であろう。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	当ホームで定めている「緊急時のマニュアル」に沿った対応を行っています。また年1回は、「救急救命講習」を実施していますが、今年はまだ行っていません。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	当ホームで定めている「防災マニュアル」に沿った対応を行う予定ですが、地域住民との災害協定は結べていません。	防災協定は結ばれていないが、火災訓練に地域の消防団が参加している。また、「いざ！」という時の地域住民の協力が期待できる関係ができています。	火災のみならず、地震に対する想定も期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	援助が必要な時も、本人の想いを察するケアを心がけ、「いいよ・嫌だ」の意志を汲み取っていますが、日々の暮らしの中で、時と場合のよっては不自由なこともあるかと思っています。	プライバシーへの配慮や利用者を尊重する姿勢が支援現場にさりげなく表出されている。その結果、利用者は安心して、落ち着いた生活が保障され、周辺症状の予防に役立っていると感心する。	こういった実践を家族や地域住民への啓発活動として行う事も、地域密着型事業所として重要であり、ホームの理解を高めることにもつながると思われる。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の想いを察し、希望を叶えるべきケアを心がけていますが、時と場合によっては、不自由な事もあるかと思っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の持つ「時間の流れ」に沿った暮らし方ができるよう努めています。 また、生活リズムの観点から、職員主導の「時間の流れ」を求める場合も、さりげない誘導を心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	現在の当ホームにおける入居者の方々は、身だしなみやお洒落に対し特別な拘りはありませんが、ご家族の希望に沿った対応は行っています。 その一方で、「今日はパジャマでいい」と強く望む入居者に対しては、ご本人の意向を重視しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューの全ては、入居者の希望を取り入れていませんが、日々の暮らしの中で、「食べたい物」の声を拾いあげメニューに反映しています。 また、旬な食材、季節に即したメニュー、地域の郷土食も、時として取り入れていきます。	利用者のできる範囲での調理への参加を促し、在宅時での生活を活かしている。 食事は利用者と同じものを職員も食べ、話題を提供しながら楽しい食事時間の提供をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	当ホームの毎食の献立は、基本的には、富士見高原病院の管理栄養士が作成したメニュー表に基づいて作られています。 また、必要な入居者には、1日の食事量・水分量の観察及び記録を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の、口腔ケアは入居者全員行っています。上手にケアできない方々が多いですが、時間をかけ丁寧なケアが行われています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	基本的には、毎食後の排泄誘導を実施していますが、その入居者によっては、その方の排泄パターンに即したケアの実践ができています。 また、全入居者に対し羞恥心に配慮した声かけもできていると思っています。	プライバシーに配慮した適度な排泄支援が行われており、日中は自立となった利用者もいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員全員で入居者の排便間隔・便の性状に注意を払っています。 また、必要に応じ、申し送りの時間を利用し柔軟な対応をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週2回の入浴を基本としていますが、希望者や発汗の多い入居者の方に対しては、その限りではありません。 入浴拒否の強い入居者の方には曜日を固定せず柔軟な対応をしています。	利用者の重度化に対応し、ユニットを増築するにあたり介助浴室を設置した。 また、拒否のある利用者にも臨機応変に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転にならない程度に、午睡やその日の体調に併せ休息がとれるよう配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	老健の看護師の指導の下、入居者一人ひとりの専用ケースで薬の管理を行っています。 服薬時は、飲み込むまでの確認を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の培ってきた人生を参考に、また、ホームの暮らしの中で見えてきた「得意」・「不得意」を配慮して、本人の気が向くときに、入居者と相談して行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	なるべく、入居者一人一人の希望に沿う形で外出等を行いたいとは思っていますが、時と場合によっては困難な時もあります。しかし、近所へのドライブ、入居者の声から拾い上げたバスハイクなど定期的を実施しています。	今を生きる利用者の思い出づくりに、利用者に寄り添うホームの姿を視ることができる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	当ホームの運営主体の方針により、現金をホーム内に置くことが難しいため現金の扱いはしていません。 ただし、欲しい物が買えるように、近所のスーパーにて口座引き落としの体制はとっています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者からの電話希望時には、電話がかけられる様に対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者、ご家族、職員、お客さん、全ての方々に「気持ちよい環境」を意識しての環境作りを行っています。	共有スペースは過ごしやすい環境であり、利用者は多くの時間を好きなように自由に過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になれる空間(居場所)や時間を持てるような配慮はしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内への私的持ち物に関しては、重要事項説明書で禁止されている物以外のもものは、ご家族、本人と相談しながら、居心地のよい居室作りを心がけています。	私物により利用者の個性が感じられる居室がある一方で、病室をイメージしてしまう居室もある。	「第一の家」に戻ることが想定しにくい利用者の「第二の家」を、家族の協力の下により豊かにすることも、「あるがままに…在るがままに…」の理念の実践の一つとして理解したい。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その入居者の行動障害や身体状況に合わせ、安全面に配慮しています。		